

公民館報第644号で、まつかわ百景が100回に到達しました。今月より表紙を飾った百景を振り返っていきたいと思います。

来年4月号より新たな表紙にしていきたいと考えております。町民の皆様のこんな表紙にしてほしいというご意見がございましたら、是非お寄せください。



館報 まつかわ

松川町公民館報 第645号
平成29年7月15日

ステイバル

6月9日(金) 町民体育館



「球」ではないボールを使う、ワンバウンドふらば～るバレー

6月9日(金)に公民館体育
部とスポーツ推進委員会の共
催でスポーツフェスティバル
を開催しました。地区公民館
や一般参加の方などおよそ50
人に参加していただき今年も
大いに賑わいました。

このスポーツフェスティバ
ルは老若男女問わず楽しむ事
を目的に作られた「ニュースポ
ーツを紹介するものです。

今回のメイン種目は「ワン
バウンドふらば～るバレー」
です。この種目の特徴は変型
したやわらかいボールを使い、
サーブ以外のレシーブは必ず
ワンバウンドしてから返す事
にあります。ボールが丸くな
いので、バウンドすると何処
に行くのかわかりません。ボー
ルのバウンドする方向を予測
しながらお互いに声を掛け合
い、フォロ～しあつて楽し
みます。

今回は体験するだけでなく、
より楽しさとルールを知つて
もらおうと試合形式で行いま
した。2つのリーグで各3チ

ムによる総当たり戦を行い、
各リーグで1位となったチー
ム同士で決勝戦を行いました。
決勝に進んだのは、上新井地
区公民館十一般参加者チーム
と古町地区公民館チームでし
た。

決勝戦らしく白熱した試合
の結果、優勝は上新井地区公
民館十一般参加者チームでし
た。



優勝チームへの表彰

優勝チーム感想

上新井地区公民館

主事 佐藤 清光

ニュースポーツ大会・体験
会に上新井地区公民館として
参加しました。

ニュースポーツ大会のワン
バウンドふらば～るバレーは、
おむすび型の変形ボールを使
用するためバウンドしてから
のボールの飛び方向に予測が
付けにくく面白いスポーツで
す。また、サーブレシーブはボ
ールが床につく前にレシーブを
して、2回以上3回以内に相
手のコートへ返し、相手コー
トから返ってきたボールは必
ずワンバウンド後にレシーブ
するルールになっています。

サーブレシーブをする時は「ノー
バン」。相手コートから返つて

きた時は「ワンバン」と声を掛
け合つてプレーをしました。

上新井地区公民館では、毎年
11月に上新井ワンバウンドふ
らば～るバレー大会を開催し
ています。参加チーム(自治会)
が多く、常に接戦になり盛り
上がるため、守備や攻撃方法
を熟知しています。その事が
優勝できた要因と思います。

今後、上新井地区公民館では
ソフトボール、ソフトバレー、
ワンバウンドふらば～るバレー、
卓球大会を予定しています。

また、子どもからお年寄り
が一緒に参加できるニュース
ポーツとして、囲碁ボール大
会の導入を検討しています。

区民の皆様に参加して頂け
るよう企画していきたいと思
います。

スポーツフェ

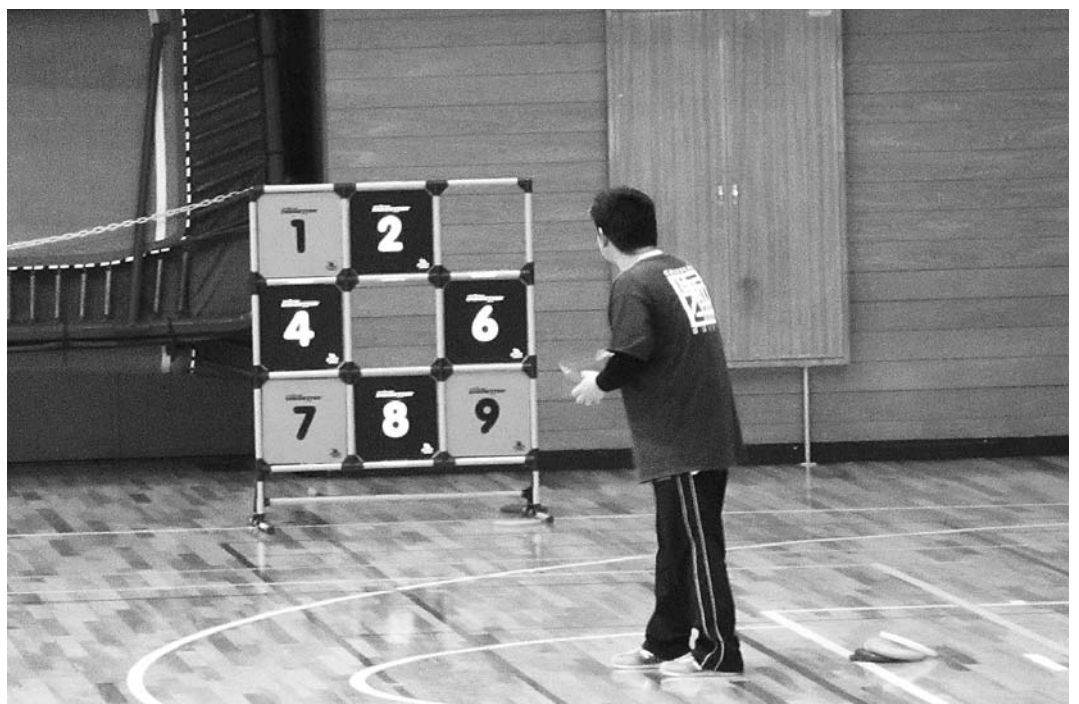
その他に「囲碁ボール」「ディスクゲッター」も紹介しました。囲碁ボールは、ゲートボールと囲碁の五目並べを組み合わせたスポーツです。単にボールを穴に入れるだけでなく、縦横斜めに3つ以上揃えた「目（もく）」という高得点を狙ってチーム内で戦略を練りながら行うのが魅力です。相手の陣地を崩したり1球で大



囲碁ボール

逆転したりと、最後まで勝敗がわからない展開に盛り上がりを見せていました。ディスクゲッターは、フライングディスクを投げてパネルを落とすスポーツです。スポーツフェスティバルでは初の紹介となりました。競技の自由度が高く、距離やパネルを変えたりしながら行っていました。

今年のスポーツフェスティバルも年齢性別関係なく多くの方にニュースポーツを楽しんでいただけたと思います。公民館体育部では、こうしたニュースポーツの出前講座を開催しています。「このス



ディスクゲッター

ポーツを体験してみたい」「スポーツイベント等で取り入れていきたい」などありましたら、公民館体育部まで気軽にお問合せください。

公民館体育部長

高坂 政憲

上片桐自然友の会 学習会

上片桐自然友の会の学習会

が6月25日(日)に上片桐改善センターで行われました。今回は「里山と鳥獣被害・オオカミはどこへ」と題した講演があり、大鹿村在住のジャーナリスト宗像充さんの話を聞きました。宗像さんは大分県出身で、登山、環境、平和、家族問題などをテーマに執筆されています。著書に「二ホンオオカミは消えたか？」があり、オオカミについて話がありました。

オオカミは、1905年の捕獲を最後に50年以上目撃情報がないことから、日本では絶滅したと考えられています。生態系のピラミッドの頂点だったオオカミがいなくなったことが、農作物などの鳥獣被害が増えている原因の一つだと

いうことです。

オオカミは絶滅したと考えられていますが、実は埼玉県秩父地方ではオオカミらしき姿を目撃したという情報が複数あるそうです。しかし、本物であるかを判断する材料が剥製しかないため、研究者でも区別や判断が難しく、確認には至っていません。いずれにしても、やはり鳥獣被害を増やさないために大切なのは人間と野生動物の共存だと講師の宗像さんは語りました。



お詫びと訂正

第644号の公民館報2面の「コストリカが世界幸福度指数3年連続1位」は、「2016年度コストリカが世界幸福度指数世界1位で今回が3回目である。」が正しい内容です。(出典 英国のニューエコノミクス財団) お詫びし訂正します。

まつかわ寄席

橘家圓十郎

6月25日 えみりあホール



♪ テンテンテン
軽快な出囃子で高座にあがった橘家圓十郎師匠。
小沢公民館長からは、真打ちになって10年、脂が乗った話芸をお楽しみください、との紹介がありました。少し苦し気に息を切らせながらの圓十郎師匠は、身体も充分に脂が乗っています。とご自分でも言われるほど立派な体格。正座は大丈夫ですか？というらぬ心配をしてみました。師匠は飯田市山本のご出身。

橘家竹蔵に入門されたのも、大師匠である橘家圓蔵(月の家圓鏡)のお母様が飯田出身だったことからだそう。
「禁酒番屋」という一席。酒のための不祥事で、殿様はじ

め家中全てに禁酒令が出された時の酒好きの武士の話。その話にからめて、酔った時のくせ、く上戸を表現する師匠の顔のパーツが、とても細かな動きをしたのです。眉は上下に、目は細く大きく、口は丸かったり平たくなったり、表情の変化だけで思わず大笑いをしました。大きな身体に大きな顔。その中心にギョツと集まった小さなパーツ達。嘶家さんは、頭から足まで全てを使って、聞いている私達に健康な笑いを届けてくれます。圓十郎師匠の生の落語をお聞きして、肌で感じることができました。
この日の朝7時に県南部を中心に地震がありました。終わりに近い頃、余震で嘶が中断されてしまいました。そんなアクシデントも、とっさのアドリブで笑いに変えてしまふのは、さすがでした。
まつかわ寄席には、今まで多くの嘶家さんが出てくださっています。個性いっぱいの方々が、毎日生活の支えとなりますように。
おあとがよろしいようで



松川中学校

自分・友達の長所、自分の進路実現のために感じとったことについて

松川中3年 早水 美月

自分の「ええところ」何て普段探さないから、少し迷いました。逆に、友達の「ええところ」はそれぞれだし、資料に出てきた人物である、とめちゃくちゃにクラス皆に、ええところを見つけていってあげられるようになりたいです。

松川中3年 宮下 華奈

友達のええところはたくさん出せるのに、自分のことになるとあまり出てこなかったです。普段あまり考えないで、今日の授業で考えることが出来るようになったです。「ええところ」をこれからたくさん

見つけていきたいと思いました。

松川中3年 片桐 結衣

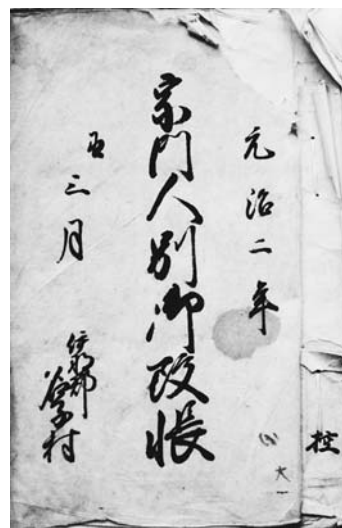
「友達が行くから私もここにします」とか、「ここでいいか」という考え方をせず、自分の将来は自分が決めるから、自分の好きなことをやりたいという意志を大切にしていきたいと思います。軽い気持ちで決めないで、真剣に向き合っていきたいです。



松川町令昔

資料館だより 第13回 「江戸時代の戸籍」

江戸時代の家族の様子を知るためには、「宗門人別改帳」という古文書を見ると、いろいろなことがわかります。江戸時代の初めころは、キリシタンを見つけてなくしていくために「宗門改め」が行われました。その方法は、よく知られている踏絵をするな



いろいろなありました。寛文11年(1671)宗門人別改帳を作ることが、全国で行われるようになります。人々を把握する戸籍のようになります。その中にはいろいろなことが書かれています。様式は同じではなく、藩によってまちまちでした。

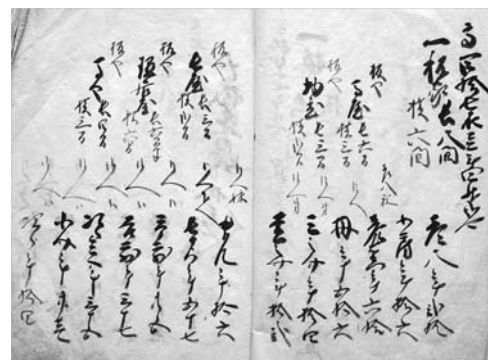
松川町資料館には名子村の江戸時代終わりの「宗門人別御改帳」が二冊あります。そこに書かれていることは、宗派・旦那寺名・その家の持高(石高)・世帯主

名・家族名・年齢・家族数(男女別人数)・持ち馬数・馬の種類などです。またさらに見ていくと、家族構成がわかります。三世代か二世代か夫婦だけかや、子どもの数・結婚年齢・夫婦の年齢差も

わかります。中には二世帯同居の家族や、家の使用人が書かれていることもあります。付箋がついていたり、横に添書きがしてあったりして、年度途中での出生や

死亡がわかることもあります。一家族のことだけでなく、村全体の家族の様子もわかります。

松川町資料館には、宗門人別改帳が始まって10年目くらいの天和2年(1682)に飯田下伊那へ入ってきた高須藩の、新井村の帳面が二冊あります。題は「家並御改帳」となっていて、旦那寺や宗派はまだ書かれていません。持高も書かれていません。そのかわり所有している家のこと



が書かれています。家の種類・家の大きさなどがわかります。こうした帳面は村を治めている領主が知りたいこといろいろのまとめられているのです。毎年作成されました。

松川町資料館

伊坪 達郎

「松川町の昔の暮らし」講座

- ◆8月5日(土) 午後3時より5時
◆講師 資料館学芸員 伊坪達郎
中央公民館えみりあ 学習室1にて開催

第2回

体育協会 & 少年少女スポーツクラブ 功労者表彰



「体育協会」
塩沢三佳さん
(マレットゴルフ 同好会)

「少年少女
スポーツクラブ」
倉田 恵一さん
(松川少年野球クラブ)

中村 貴彦さん
(少年少女柔道クラブ)

片桐 瑞穂さん
(少年少女柔道クラブ)

スポーツ 大島剣道クラブ 大会結果

南信大会 (団体)

小学生女子の部
準優勝 松川剣道クラブ
先鋒 大場 彩々音
(おおば ささね)

中堅 宮島 千空
(みやじま ちひろ)

大将 平島 弥佳
(ひらしま みか)

中学生男子の部
第三位 松川中学剣道部A
先鋒 平島 颯人
(ひらしま はやと)

次鋒 橋場 光希
(はしば みつき)

中堅 荒川 想太
(あらかわ そうた)

副将 水野 佐映
(みずの さえ)

大将 熊谷 眞綱
(くまがい なおつな)

飯伊大会 (個人)

小学生2年以下男女の部
準優勝 平島 康貴
(ひらしま こうき)

小学生5・6年女子の部
第三位 平島 弥佳
(ひらしま みか)

中学生2年男子の部
優勝 熊谷 眞綱
(くまがい なおつな)

準優勝 平島 颯人
(ひらしま はやと)

第三位 大場 楓希
(おおば ふうき)

中学生3年男子の部
優勝 荒川 想太
(あらかわ そうた)

中学生1〜3年女子の部
第三位 倉田 珠生
(くらた たまき)

第三位 水野 佐映
(みずの さえ)

一般Aの部
(一般男子3段以下の部)
第三位 亀山 忠頼
(かめやま ただより)

一般Bの部
(一般男女4段以上の部)
準優勝 岩崎 秀成
(いわさき ひでなり)

第三位 中野 文義
(なかの ふみよし)



まつかわ大学 第2講座

9月2日(土) 19:00~

- ◆開場 18:45
- ◆開演 19:00~21:00
- ◆場所 松川町中央公民館
えみりあホール

「希望の牧場・ふくしま」
(福島県浪江町)の代表として、
原発事故生き証人・被ばく牛とともに 原発を
乗り越える世の中を目指す。

吉沢正巳

福島第一原発14km 地点で 売れない牛300頭を飼い続ける理由



8月6日 人形劇がやってくる!

10:30開演 入場無料!

- ◆場 所 町民体育館トレーニングルーム
- ◆出 演 人形劇・トロッコ
- ◆演 目 きかんしゃ よしつね号/ぞ。ふくわじゅつ
夏休みの一時、人形劇ですてきな時間をお友達と、
ご家族と、地域のみなさんと楽しみませんか。
お問合せ先 中央公民館 電話36-2622

すぽっと

地域を知る講座 ツツザキヤマジノギクの保護活動

「あたり一面がオオキンケイギク（外来植物）の黄色で埋め尽くされているけれど、ツツザキヤマジノギクはどうなってしまうのかな？」

6月3日にツツザキヤマジノギクの保護のため天竜川の河川敷に集まった参加者は、オオキンケイギクなど外来植物の繁殖力のものすごさを一瞬で理解しました。

ツツザキヤマジノギクは天竜川の河川敷の松川町付近し

か生育していない植物で、長野県の絶滅危惧種に指定されています。今ではまさに「世界にここだけにしかない」貴重な植物です。

今年は、昨年を上回る50人以上の参加者が、早朝7時より保護区域を中心に外来植物の駆除活動を行いました。

講師の堤先生から「集中的に保護している区域以外にもツツザキヤマジノギクが生育している」とうれしいお話を



MCもつちーこと 文教施設係長 望月 貴生さん

4月から文教施設係長になられた望月貴生さん。主に図書館・資料館・青年の家・旧



東小学校の管理・運営をしていらつしゃいます。この係は4月に新設された係で慣れないことも多い中、1つ1つ目の前の仕事に真剣に取り組んでいらつしゃいます。

望月さんは音楽が趣味だそう、チャンネルユーでミュージックファイターという番組もしています。6月は町内外でライブを行っているスクーターズをゲストに招き、第一回目の放送がありました。ゲストとのトークをはじめ、M

お聞きしました。10月には観察会を行います。藤色の可憐な花を多くの方に見ていただけたら良いと思います。



Cであるもつちーさんが、ゲストとコラボライブをする番組です。松川町に縁のある人が出てくるので皆さんぜひご覧ください！

望月さんは、このような音楽活動ができたのは公民館で主事として働いていたことが大きく影響していると話してくださいました。

私たちが住む松川町を若い人たちが楽しめる町にしたいと熱く語る望月さん。公民館でもいろいろないイベントや活動をしているので、ぜひ積極的に参加してみんなで松川町を盛り上げていきましょう。

俳句

遠雷

鋤柄 郁夫 (宮坂)

- 一、爺さんやヘブリールブルーが咲きました
- 一、佳き人の逝ってしまへり柿若葉
- 一、「みだれ髪」流れるラジオ明易し
- 一、骨鳴るは老ひの兆しか走り梅雨
- 一、婆さんや遠くで雷なっている



松川中央小学校

細江 理奈

水野 美樹

- ① わりには、南アルプス、自然がいつばい
- ② ながっている松川の人たち
- ③ たちのいい
- ④ 味もいりんごがあつて
- ⑤ かい人も農業しているよ
- ⑥ まいにはちげんきな松川で
- ⑦ つじ祭もやっている
- ⑧ かわの流れと
- ⑨ きれいな水がある
- ⑩ わくい清流苑祭だのしいな
- ⑪ まいにち元気な町の人
- ⑫ ねにリンゴは有名で
- ⑬ かじゅえんたぐさん
- ⑭ ありますよ。
- ⑮ わらって楽しい松川町

松尾 世榮

原 心央

- ① ああおいしい！
- ② あかいあかいりんごです。
- ③ かつてるときもちいいんだ
- ④ 清流えん
- ⑤ かわであそぼう！
- ⑥ 夏はサイコー！！
- ⑦ わくわくいわーいおまつりは、いろんなやたいが
- ⑧ 出ているよ。
- ⑨ やつぱり商店街！





中学生文化クラブ 「書道クラブ」

毎週水曜日 17:30~19:30



中学生の要望にこたえ
「書道クラブ」「絵画クラブ」が始まりました。

部奈地区公民館

研修旅行に行ってきました



梅雨入りして、梅雨の中休みがずっと続いてきた6月18日、子どもを含めた総勢34人で、静岡県浜名湖方面へ、今年度の部奈地区公民館の研修旅行に行ってきました。今年度はNHK大河ドラマで放映中の「おんな城主直虎」にゆかりのある龍潭寺、大河ドラマ館を中心に見学してきました。梅雨の時期で天候も心配される時ではありましたが、

雨に降られることもなく、また暑くも寒くもないという研修するには絶好の陽気でした。中央道から東海環状線に入り、新東名を通って浜松いなさインターまで高速道路を走り、その後は国道275号線を通って龍潭寺、井伊谷宮まで行きました。ドラマが始まって半年が経ったところなので、訪れる方も大分多くなっているように感じました。井伊家の

一般参詣者は立入禁止となっていて少々残念。続いて10分ほど移動し、浜松市気賀にある大河ドラマ館へ。ここは徳川幕府が慶長6(1601)年に姫街道に設置した気賀関所に隣接する施設。記念撮影をしてから入館。ドラマのメイキングがそのまま見られる施設でした。人気の三浦春馬のパネルの前では立ち止まる女性の姿が多く見られました。柴崎コウをはじめとしてお馴染みの顔と対面し、今晩帰って早速ドラマを見るかといった声も聞かれま

菩提寺であり小堀遠州作の庭園のある龍潭寺は天平5(733)年、行基によって開創されたお寺で、1万坪の敷地には、本堂、開山堂、御霊屋など県指定の文化財の立ち並ぶ名刹でした。隣の敷地には井伊谷宮があり、南北朝時代、後醍醐天皇の第四皇子であった宗良親王が祀られている。しかし宮内庁が管理していて一



した。お土産を買って昼食会場へ移動。部奈恒例の大宴会が繰り広げられたことは言うまでもありません。

男女共同参画社会推進に関わって、女性の社会進出や、皇位継承を巡る女帝の誕生ありや無しやの今日、一族存続のために奮闘した女性の足跡を辿ることは、意義のあったものだと自賛しているところです。

部奈地区公民館長
杉山 行孝

2017年

7月に入り夏らしく暑さが増してきました。暑いのはあまり好きではなく、どうやって乗り切ろうかと思っています。8月に入れば大型連休がある人もいると思います。大型連休と言えば海外旅行などへ行く人も多いでしょう。自分は今まで海外旅行に行つたことがありません。人生で一度くらいは行きたいなと思っています。

特にヨーロッパにはぜひとも行つてみたいです。自分はサッカーが好きなのでヨーロッパのサッカーを見たいのもありますし、バルセロナのメッシを生で見たいなと思います。バルセロナのスタジアム、カンピ・ノウで見られたら最高だなって思います。しかし、今テロなどが度々起こっていて治安が悪いのもあり、そういうところは怖いなと思います。英語が話せないのも不安です。それを考えると日本の行ったことのない所をまずはたくさん旅行したいです。今年の夏はまだ予定が全く無いので、どこかへ出かけられたらいいなと思います。みなさんの夏はどう過ごされるのでしょうか。

米山 拓也

公民館報
「まつかわ」
第 645 号
平成29年7月15日
発行所 松川町公民館 誠
責任者 小 沢 誠
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。